

中高生を対象とした医師の職業体験実習

と き 令和7年8月3日（日）9：30～12：05

ところ 山口県医師会6階

〔報告：理事 白澤 文吾〕

医療職への理解を深めるとともに、その魅力を体験していただき、将来、県内で活躍してくれる医師を養成することを目的に本事業を開催しており、今回で7回目となる。

県内の中学校、高等学校に開催の案内を行ったところ、71名の応募があり、定員（40名）を大きく上回ったため、厳正な抽選を行い、59名に参加していただくこととした。結果として、中学生28名、高校生28名の合計56名が参加した。

なお、県内の新型コロナウイルス感染症の報告数が増加傾向にあったため、参加者にはマスク着用と手指消毒を徹底して、開催した。

当日は、美祢市病院事業局の清水良一先生、山口大学医学部の桂 春作先生、久永拓郎先生、竹内由利子先生、吉富千尋先生、山口労災病院の白澤由美子先生、山口大学医学部6年生の学生19名にご協力いただいた。また、本会からは茶川常任理事、森理事と私が参加した。

はじめに清水良一先生から、救急蘇生の実技に繋がる内容で、生命を維持するためのエネルギー代謝について講義をしていただき、その後、参加者は6つのグループに分けて、採血、心肺蘇生、血圧測定、縫合・結紮、気道異物の除去をそれぞれ体験した。なお、今回も「医学生へ何でも聞いてみよう！（医学生への質問と山口大学病院紹介のコーナー）」というブースを設置し、現役の医学生と中高生が直接、いろいろと話ができるようにした。

最後に、私から山口大学医学部の入試制度やカリキュラム、山口県の地域医療の現状等について話をした。

今回の体験を通じて参加した中高生が、一人でも多く医師やコメディカルとなり、山口県内で従事されることを願うばかりである。

参加者の感想（抜粋）

面白かったこと、勉強になったこと

- ・体験がすべて面白かった。（7）
- ・体験で医療の基本的な技術を実際に体験できてよかった。（2）
- ・応急処置の仕方や医師を目指す上で今自分にできることを知った。
- ・医学の世界では知識だけでなく技術も必要なのだと学んだ。
- ・医療用の道具などを実際に触ることができて、とても楽しかった。（4）
- ・最初の講義で人が生き続けられる体の仕組みを分かりやすく教えてもらい、とても面白かった。（4）
- ・最初に人が生き続けられる体の仕組みについて、電池などに例えて分かりやすく説明して下さったので、その後の心肺蘇生や気道異物の除去での体験を通して理解を深めることができた。
- ・今の医師の現状が分かった。
- ・山口大学についてよく分かった。
- ・採血が面白かった。（4）
- ・採血などは病院などに行った時に受けることがあるが、自分でやってみると難しかった。
- ・採血をする側に立てて、何に気をつけるかなど知れて面白かった。（2）
- ・採血では奥に刺しすぎてもダメで、少し刺したぐらいでは採血ができないので、調節が面白かった。
- ・心肺蘇生が難しかったが、もし自分が見つけた時に指示したり、することがあるかもしれないので、勉強できてよかった。
- ・心肺蘇生で、蘇生の大変さが勉強になった。医師に一步近づけたと思う。

- ・心肺蘇生は過去にやったことがあったが、何度も練習することが大切だと思った。
- ・血圧測定は思ったより痛くて、自分が測るとき、人への気遣いを学べた。
- ・縫合・結紮が楽しかった。(10)
- ・縫合・結紮はいろいろな道具(持針器)で行うことが分かった。(3)
- ・縫合・結紮を楽しみにしていたので、できるかと緊張していたが、丁寧に教えていただき、上手にすることができてとても楽しかった。(3)
- ・縫合・結紮で専用の道具を使い、家庭の学習で学ぶ内容とは違う縫い方だったので、とても勉強になった。
- ・気道異物の除去が面白かった。(2)
- ・気道異物の除去でなかなか異物が口の中から出ず、面白かった。
- ・硬い人形を頑張って背中を叩いたり、腹部付近を押すのが面白かった。
- ・人が倒れている時や、のどに詰まった時はまず周囲の確認をして、そのあとに声をかけることを学んだ。
- ・心肺蘇生や気道異物の除去は日常生活で何かあった時に役立つのでよかった。何かあった時に役立てたい。(5)
- ・医学生に直接話ができることが良かった。(9)
- ・受験や勉強方法について詳しく知れたことが良かった。(8)

- ・医師や医学生がとても優しくおもしろく教えてくれたことが嬉しかった。(2)
- ・医学生に聞いてみようのコーナーで医学生の1日の過ごし方や勉強法を教えてもらえてよかった。
- ・医学部でどのような授業をしているかが聞けて勉強になった。
- ・同級生や医学生と話をすることができ、今後の進路選択に向けていいきっかけになった。(2)

難しかったこと、あまり理解できなかったこと

- ・最初の講義が、専門的な言葉が多く、理解できなかった。(5)
- ・最後の講義が難しかった。
- ・採血が難しかった。(6)
- ・心肺蘇生が難しかった。(3)
- ・胸骨圧迫が難しかった。
- ・血圧測定が難しかった。(5)
- ・血圧測定の器具の使い方が難しかった。
- ・血圧測定の音を聞くのが大変だった。(6)
- ・縫合・結紮が難しかった。(7)
- ・縫合で針を通すのが難しかった。(3)
- ・縫合・結紮での持針器の使い方が難しかった。(4)
- ・気道異物の除去が難しかった。(11)
- ・気道異物の除去で、腹部突き上げ法が難しかった。(2)



採血



心肺蘇生

- ・縫合・結紮の器具がとても繊細な操作が必要で、人に対してやれるようになるか、痛くないようにできるようになるかがとても心配だった。看護師の方々や医師の方々がどれだけ練習し、時間をかけて技術を習得しているのかを改めて実感し、憧れと尊敬の気持ちが深まった。

その他の意見

- ・楽しかった。(2)
 - ・医学生がとても優しくかった。(3)
 - ・有意義な時間をありがとうございました。(4)
 - ・もう一度、やりたい！(2)
 - ・実際に医師や医学生のお話を聞くことができ、勉強のモチベーションが上がった。
- ・午前中だけでなく午後もやりたいと思った。1つのブースの時間がもっとあれば、詳しく知れるし、大学生ともっとコミュニケーションが取れると思う。
 - ・医療器具について学ぶ場を作って欲しい。
 - ・医師になりたいという気持ちが強くなった。(2)
 - ・大学生への質問の時間が少し短ったのが心残りだった。また機会があれば先生方、大学生の方々とお会いしたい。
 - ・医学生の方とお話ができて楽しかった。また、積極的に話しかけてくださったのがうれしかった。(2)



血圧測定



縫合・結紮



気道異物の除去



医学生に聞いてみよう！